

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
M212W301		在宅看護論 (Home Care Nursing)					統合分野							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	1	3	医学部看護学 科	前期	木3,木4	日本語		オムニバス						
担当教員	氏名 小野光美・三重野英子・岩本祐一・大野夏稀・江藤千晴・阿部世史美													
	E-mail mitsumi@ 内線 5091													
授業の概要	全ての看護学領域および関連諸科学の授業で学んだ知識を基盤として、療養者が望む住まいでその人らしく健やかに療養生活を続けられるよう地域包括ケアシステムにおいて個別的看護を展開するための基礎的能力を養う。全ての発達段階（小児から高齢者）、様々な健康レベル（健康の維持・回復から安らかな死）にある在宅療養者を支える制度、看護専門職の技術と役割、多職種との連携について、オムニバス形式で学ぶ。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	在宅看護の目的・特徴、対象者、システムを説明する							○						
目標2	訪問看護過程の展開の実際を知り、訪問看護の視点や必要な知識・技術・態度を説明する							○						
目標3	在宅看護のさまざまな対象や場・空間、専門職の活動を知り、対象者の療養生活を支える看護専門職の役割を考え述べる							○		○				○
目標4														
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度（計10）								3		3				4
授業の内容														
1	在宅看護の目的、対象、在宅看護のシステム・展開、地域多職種連携													
2	在宅看護の目的、対象、在宅看護のシステム・展開、地域多職種連携													
3	在宅療養者を支える制度、在宅看護における倫理（権利保障）													
4	在宅療養者とその家族を支える看護（１）訪問看護師による看護実践													
5	在宅療養者とその家族を支える看護（２）医療的ケア児に対する看護実践（療養・発達支援）													
6	在宅療養者とその家族を支える看護（３）地域で暮らす精神障害者に対する看護実践													
7	在宅療養者とその家族を支える看護（４）自宅で最期まで生きるがん患者に対する看護実践													
8	在宅療養者とその家族を支える看護（５）認知症ピアサポート活動													
9	事例検討・発表、在宅看護実習のオリエンテーション													
10	事例検討・発表、在宅看護実習のオリエンテーション													
11	事例検討・発表、在宅看護実習のオリエンテーション													
12														
13														
14														
15														
ラ イ ク ニ ン グ	A:知識の定着・確認	○	A：小テスト、学習記録による振り返り				工 夫 の 他 の	・既修の学習内容を振り返る時間を設け、知識の統合を促進する。 ・学生個々が考え、意見を述べる機会を頻繁に設ける。						
	B:意見の表現・交換	○	B：発問、グループ検討											
	C:応用志向	○	C：グループによる事例検討・発表											
	D:知識の活用・創造													
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	指定した授業資料や教科書等を用い、次回の学修内容について予習する。適宜、宿題を課す。（11.5h）												
	事後学修	授業資料、教科書、小テストを用い、授業で学修した内容を復習する。（11h）												
	想定時間合計	23												
教科書	・臺有香、石田千絵、山下瑠璃子編者（2022）：ナースンググラフィカ 地域・在宅看護論 地域療養を支えるケア（第7版）、メディカ出版、大阪。（ISBN：978-4-8404-7543-3）													
参考書	・適宜紹介する													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	期末試験		80%	○	○	○							
	事例検討（グループ検討の過程と成果）		20%	○	○	○							
注意事項	毎回、学修記録の提出（Moodleアンケート）をもって出席状況を確認する。												
備考	適時、授業資料や教材をMoodleにアップロードする（アップロード時、メールで通知）。												
リンク	URL												
担当教員の 実務経験の有無	○												
教員の 実務経験	小野、岩本、大野、阿部（看護師、保健師）、三重野（看護師）、江藤（看護師、助産師）												
教員以外で 指導に関わる 実務経験者の有無	○												
教員以外の 指導に関わる 実務経験者	訪問看護師、認知症ピアサポーター・認知症希望大使、デイサービス事業所代表・介護支援専門員												
実務経験を いかした教育内容	看護実践の経験に基づき、病院完結型ではなく、療養者とその家族が望む生き方を支えるための知識と技術を理解し、在宅看護に対する展望が描けるよう、講義・演習を行う。												